

科目名	中国文学概論Ⅱ					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸彦						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1218

●授業のテーマ

中国文学の流れをつかむ

●到達目標

中国文学の基礎知識を習得し、自力で原書を使いこなせる段階にまでなる。

●学習内容(授業概要)

中国古典語(文言、いわゆる漢文)の作品は、常に先人の作品を古典として教養に取り込みつつ新たな創作が積み上げられてきた歴史があります。その結果として、紀元前の作品から19世紀の作品に至るまで、ほとんど途切れることなく一貫した古典語による世界が形作られることになりました。紀元前から順に時代を下って清代に至るまでの作品に触れていくことで、中国文学の大きな流れを体感してもらうこと、それが本講義の目標となります。

本講義では、概論Ⅰを受けて、主として六朝時代以降の作品を取り上げます。この時代には、文言の作品以外にも、口語の作品なども多く生まれてきます。時間が許せばそれらにも触れていくつもりです。

●学習内容(授業計画)

1. 魏晋南北朝時代の文学
2. 言語学の萌芽
3. 唐の文学
4. 近体詩の成立
5. 初唐の詩人
6. 盛唐の詩人
7. 李白
8. 杜甫
9. 散文作品と「古文」
10. 韓愈・白居易
11. 宋の文学
12. 詞
13. 元・明・清の文学
14. 俗文学
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に中国に関する基礎知識を調べておくこと。また事後は、講義時に配布する資料を読んで内容をしっかり把握しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点3割、学期末レポート7割

●テキスト（必携）
講義時にプリント配布

●参考文献／その他
講義時に指示する。

●履修上の注意
受講にあたり漢文の基本的なスキルを身につけておいてほしい。2年次以降の受講が望ましい。